

敬
学
会

Note—Book

Made of Paper
Specially Prepared in Tokyo



ぶどうの研究

五年一組

大柳 宏子

敬
学
会
賞
第
十
九
回
入
選
作
品

石研究をはじめたわけ

日かけ"を作るために植えたぶどうですが、^{は、どういふふう}に成長するのかわかり、^{は、どういふふう}に実や葉は、どんなふうになっていくのかを言周りで
2
みたいと思ったから

研究のために使ったもの

参考書は、さがしてみたが、ぶどうの参考書はなかった。
実験のための道具は、けんひ鏡・小刀など

石研究の内容

5月3日

えだは、根元の方が直けい10cmぐらいある下の方から上へとくきが出てきて葉は、まだ小さい。

5月22日

緑の実がついた

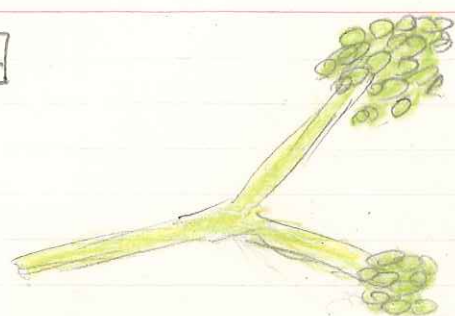
5月26日

くきもだいぶのみ、実もついてきたのでたなをつた下の方のくきはとった。ふきは、さわるとえだからすぐとれる

前から私は米のときしるが、とてもよいと聞いたのでやっている。

五月五日 27日

けんび鏡で見た



15くらい

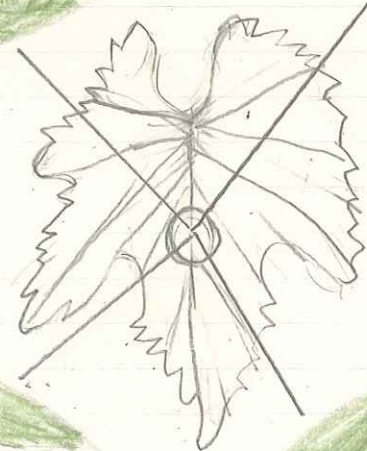
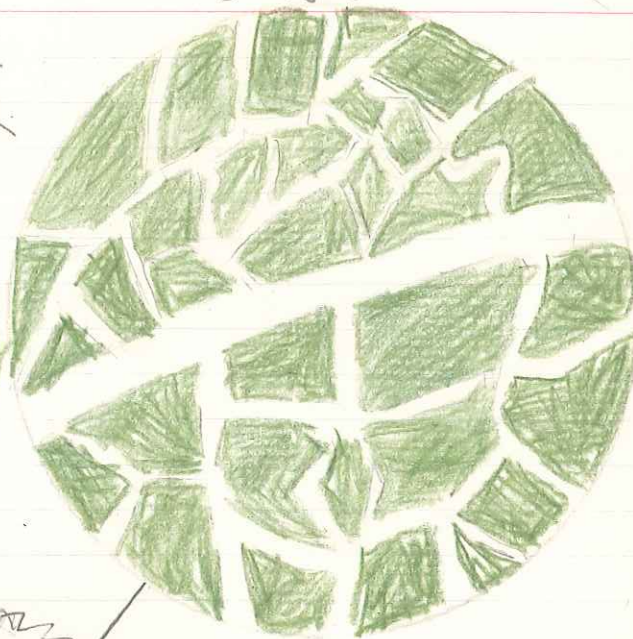


実の1つをとってみるときみどりの中にほ^ろつんとべに色
のものがある。これがなにになるのかためしみた。
たてに二つにわってみると 青^ろがこまみみたいだが、そ
れより小さくて黄色い色をしているものが ほ^ろろ
ほ^ろろの中から出てきた。

肉眼

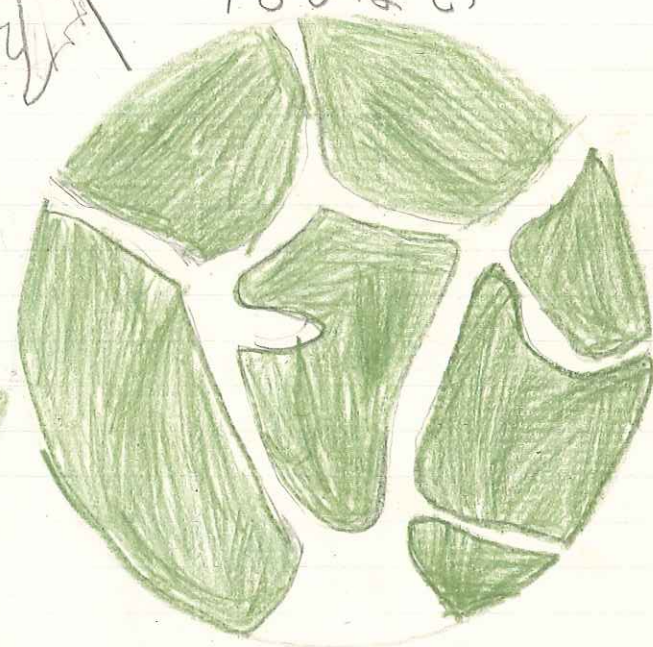
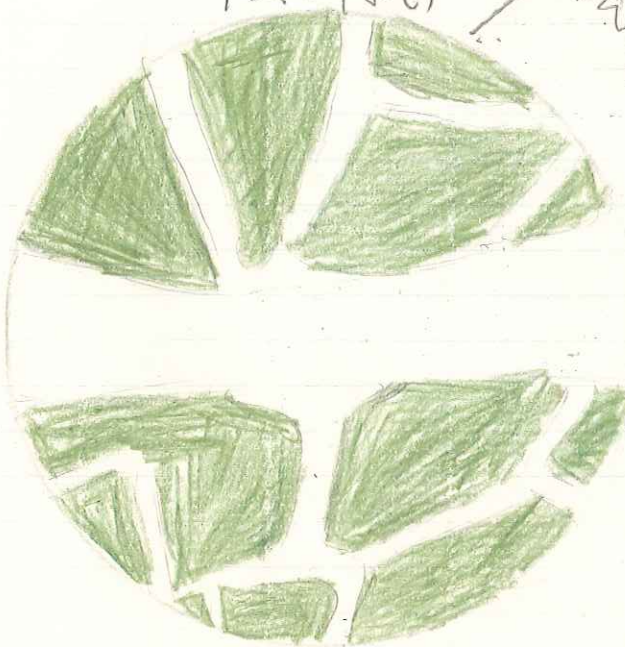
60ばい

葉



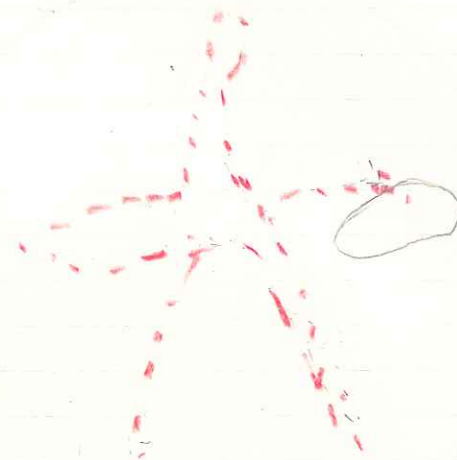
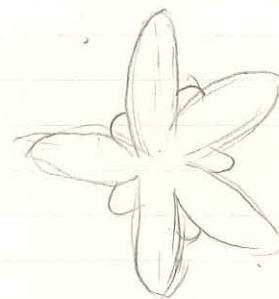
120ばい

180ばい



実

ふじ ぶどうの実を開くと、五つにわかれる。



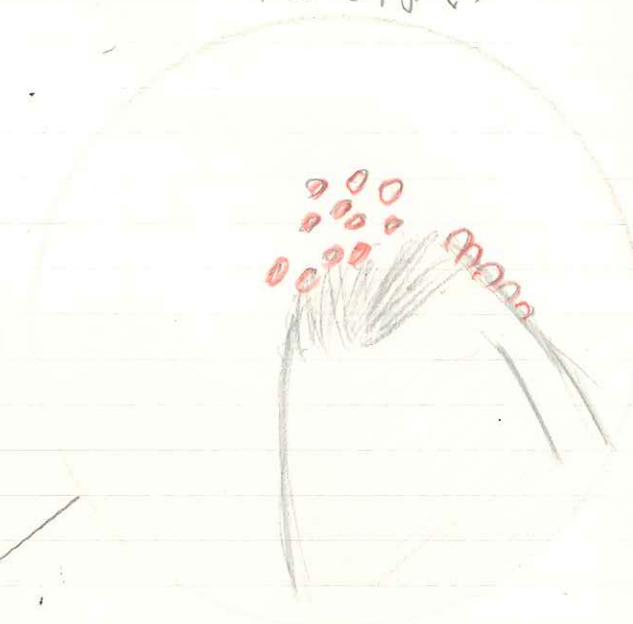
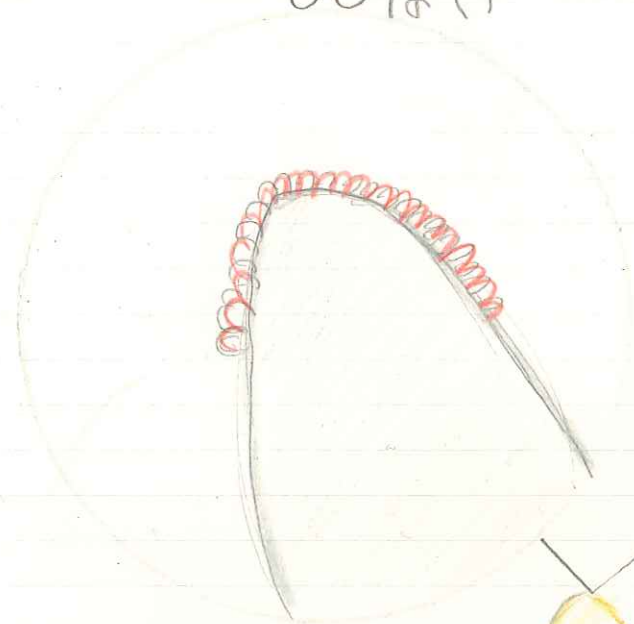
六月十七日

花がさく時は糸長くなってさく



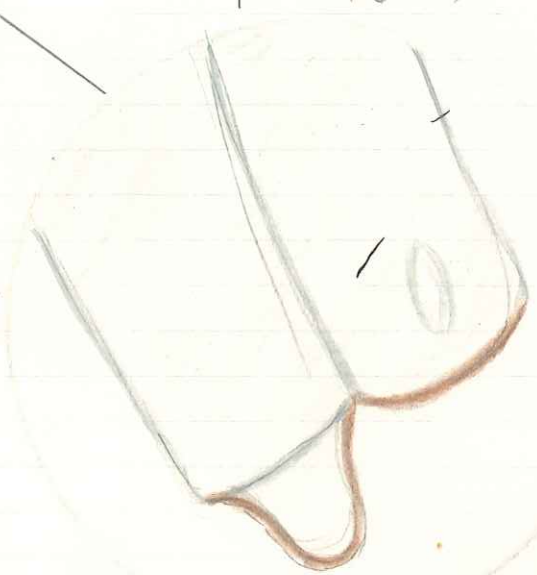
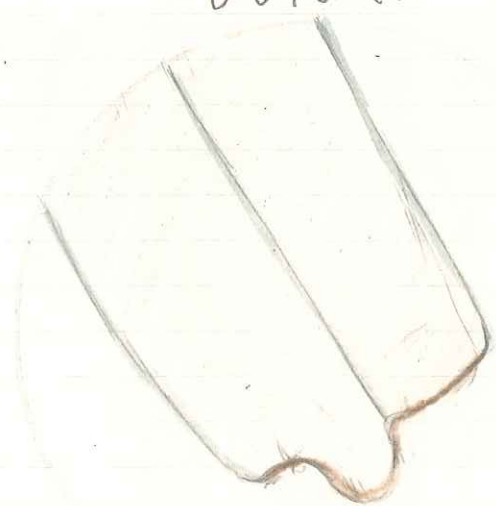
実からたねのようなものが出た
60ばい

150ばい



60ばい

120ばい



八月 8月1日

ぶどうのつぶは、直径15cmぐらいの大きさでまだかたい

八月十日 8月14日

となりの方までづるがのびたのできったら実づつり

ていた。

八月十一日 8月15日

たてに二つにわけてみた。家のは、デラなのでふつうより小さい。まだかたい
よそのより十日ぐらいおそい



たてにわった所

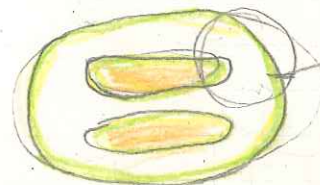


よこにわった所

たてに二つにわけてみたらたねが三つ出てきた。
味は、しぶいすっぱみだ

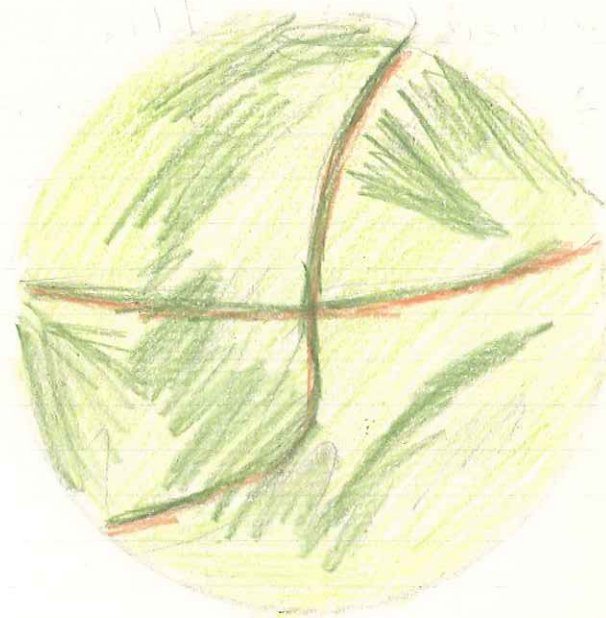


60ばい



60ばい
60ばい

ふどりの皮の内側

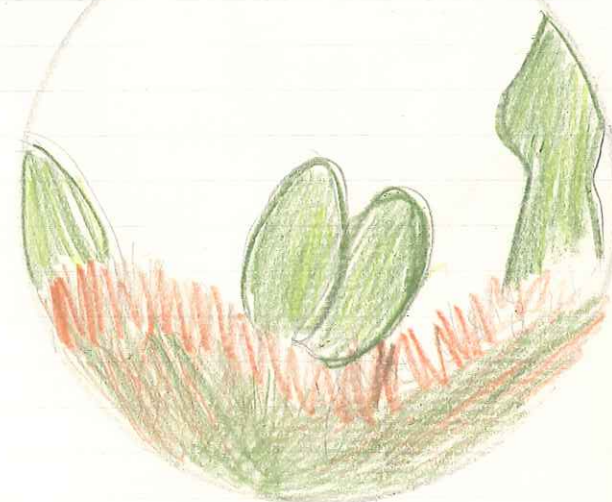


つる 60ばい

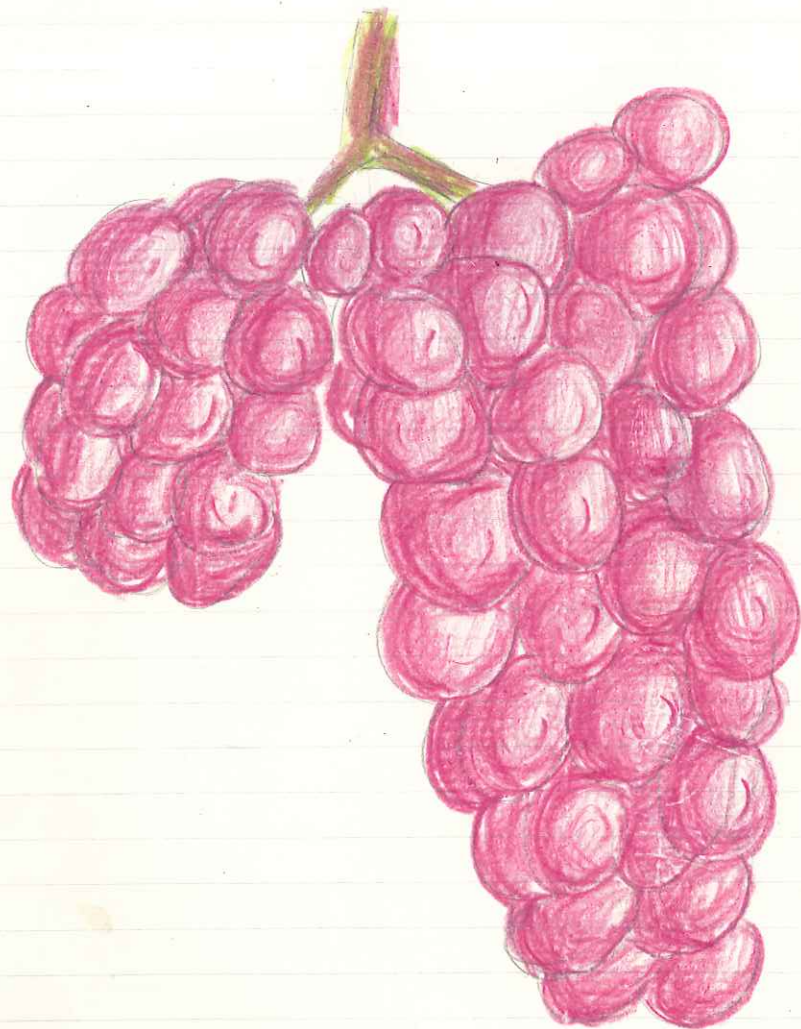


若い葉

芽 60ばい



うちで取れたぶどう



八月十七日ごろからぶどうの実が、緑色から少しずつ赤
みさきに変化してきた。二週もたつとすっかり赤みさ
きになった。

九月十日

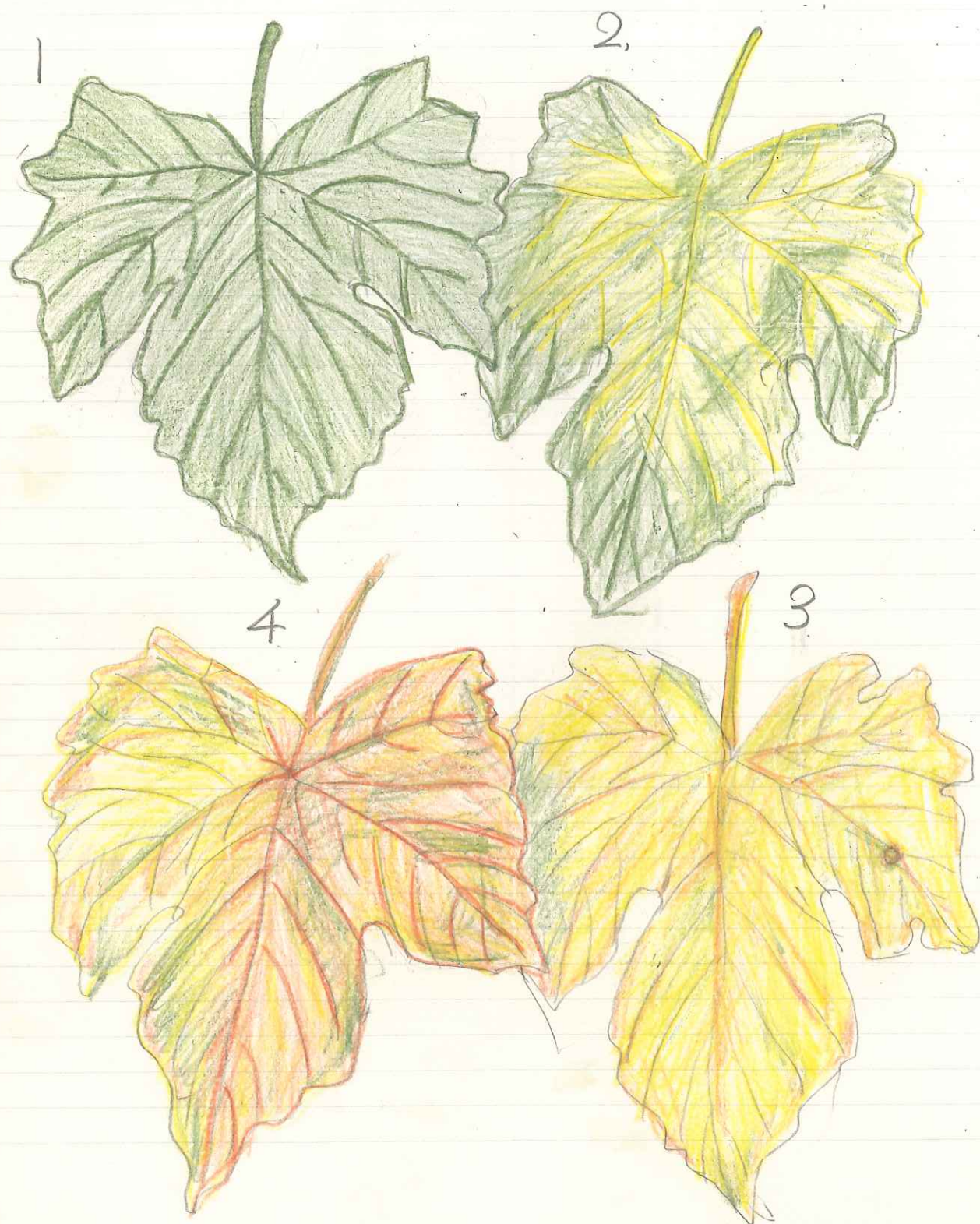
台風のためにぶどうがおちた。

九月十七日

ここに来てから初めてなので、いつセカリ取ったらよいかわか
らないけれど、とって食べてみるとすごくあまくておいしい
ぶどうだった。

たねは大きい、どこにもない^ような、あまいぶどうだ
った。そのころから少しずつ葉がかわってきた。

葉のかわっていくようす



まとめ

1. 今まで観察してわかったこと
 - くきが出てきてから(五月三日) 小さい緑の玉がつくまで(五月廿一日)
(廿九日)
 - くきが出てきてから(五月三日) 花がさくまで(六月十七日)
(四月と十四日)
 - くきが出てきてから(五月三日) 緑色から赤みへ変化するまで
(八月十七日)
(三月と十四日)
 - くきが出てきてから(五月三日) すかり赤みへ変化するまで
(八月三十一日)
(三月と二十八日)
 - くきが出てきてから(五月三日) 葉がかわってくるまで(九月十七日)
(四月と十四日)
 - 花がさいてから(六月十七日) すかり赤みへ変化するまで
(八月三十一日)
(二月と十四日)
 - 花がさいてから(六月十七日) 葉がかわるまで(九月十七日)
(三月)

研究してわかったこと

去年 あまりえだを切りすぎたのとぶどうの実がなったころ
下の方にたなを 作る事ができないので実がなっているところ
を切ったので 手のひらにーは「い」くらいしかならなかった
のが ざん念だった。

実をもっとあまくするには、さけのほねや頭など"を木の
まわりに あなを ほってそれをうめるともっと あまくなる
そうです。